

教育実践研究Ⅰ 生徒指導領域実習

生徒指導領域実習では、ストレートマスターの1年生が、清水が丘分校、フレンドリーあいぱる大江教室、本荘小学校フレンドリーオンラインで、7日間の実習を行いました。今回の実習では、現場でのフィールド・ワークを通して、生徒指導力を中心に専門的職業人としての教育実践力の高度化を図ることを目的としています。授業を観察するだけでなく、授業も行い、実践的に学びました。本荘小学校でも、画面の向こうの児童に向けて、漢字の成り立ちや都道府県クイズなど、興味をもって学習してくれるように工夫を重ねて授業を行いました。先生方の協力を得ながら、とても楽しい雰囲気の中で授業が行われました。清水が丘分校でも、児童生徒と直接関わりながら実習を行うことができました。大学院での学びを、現場で深めることができる実習でした。



本荘小学校フレンドリーオンラインで授業も担当

熊本大学教職大学院主催 くまもとデジタル作品コンテスト

3回目となる「くまもとデジタル作品コンテスト」 ICT は子どもたちの意欲や創造力を掻き立ててくれます。創造性やアイデアがいっぱいつまった動画、静止画、プログラミング、音楽の作品を募集し、ICT活用を盛り上げます。審査委員長は塚本光夫名誉教授、前田康裕特任教授、山崎浩継教授にも審査をしていただきます。11月30日締め切りです。詳細はQRコードを読み込んでご覧ください。



P1 院生による授業紹介

学校の危機管理の理論と実践

学校現場では日々、「突発的な事故、事件等への対応」や「いじめ・不登校等への対応」等かなされています。学校が子供たちにとって安心・安全な学びの場であることは、全ての人の願いですし、私自身も対応力を高める必要性を強く感じていました。この授業では、多様化する学校危機について知見を広げたり、多くの事例について未然予防の方策や発生後の対応をグループで検討したりする機会が豊富にあります。自分自身がこれまで遭遇した危機への対応をじっくりと見つめ直す機会にもなっており、日常的な危機管理の意識と、「もしも」が起きた時に的確な対応ができる実践力の高まりを感じています。



(P1 小島孝介)

P2 院生による研究紹介

学校保健の渦づくり

教職員にはそれぞれの専門分野があり、学校現場では校務分掌を任せられます。自分に任せられた分野について一生懸命に取り組みたい、他の先生方とも連携したいと意欲を持たれると思います。私は養護教諭として、これまで以上に先生方や生徒と連携しながら学校保健に取り組みたいと考え研究を進めています。どの学校にもある生徒会や委員会活動を活用し、生徒と一緒に学校保健の必要性を伝えられるように調査や発表を行い、その効果を検証しています。生徒指導や校内研修等、全ての活動はチームで取り組むことで、より一層の効果を発揮すると言われていています。養護教諭以外の先生方にも応用、活用して頂けると嬉しいです。



(P2 香西里子)